



1. 次の問いに答えなさい。

(1) 2直線 $y = 3x - 1$, $y = x + 5$ の交点を通り、直線 $y = -\frac{2}{3}x + 4$ と平行な直線の式を求めなさい。
2直線の交点の座標を代入法でもとめる。 $3x - 1 = x + 5$, $2x = 6$ より $x = 3$ と $y = 8$ となる。
傾きが $-\frac{2}{3}$ で $(3, 8)$ を通る1次関数を求める。 $8 = -\frac{2}{3} \times 3 + b$ より、 $b = 10$ よって、 $y = -\frac{2}{3}x + 10$

(2) 3つの直線、 $l: y = -x + 5$, $m: y = \frac{1}{3}x - 2$, $n: y = ax + 1$ があるとき、これらの直線で三角形を作ることができないような a の値をすべて求めなさい。

l, m, n の直線が三角形を作らないときは、

① l と m の交点を n が通るとき・・・ l と m の交点は代入法より、 $-x + 5 = \frac{1}{3}x - 2$ を解いて $x = \frac{21}{4}$, $y = -\frac{1}{4}$ 。つまり n が $\left(\frac{21}{4}, -\frac{1}{4}\right)$ を通るときは三角形を作らない。 n に代入し、 $-\frac{1}{4} = a\left(\frac{21}{4}\right) + 1$ を解いて a をもとめると、 $a = -\frac{5}{21}$

② l と n が平行のとき・・・ l と n の傾きが等しい時は三角形をつくらないので、 $a = -1$

③ m と n が平行のとき・・・ m と n の傾きが等しい時は三角形をつくらないので、 $a = \frac{1}{3}$

(3) k を定数としたとき、3つの直線 $y = 3x - 2$, $y = -4x + 10$, $y = kx + 1$ が1点で交わるときの k の値を求めなさい。

直線 $y = 3x - 2$ と $y = -4x + 10$ の交点を $y = kx + 1$ が通ると考える。

交点の座標は、代入法より $3x - 2 = -4x + 10$ を解いて、 $x = \frac{12}{7}$ と $y = \frac{22}{7}$ 。これを $y = kx + 1$ に

代入して $\frac{22}{7} = k\left(\frac{12}{7}\right) + 1$ これを k について解いて、 $k = \frac{5}{4}$

(1) $y = -\frac{2}{3}x + 10$

(2) $a = -\frac{5}{21}, -1, \frac{1}{3}$

(3) $k = \frac{5}{4}$